

動物用ワクチン緊急時増産体制整備事業

【185百万円】

対策のポイント

動物用ワクチンの需要急増時の増産に必要な医薬品製造用真空凍結乾燥機の整備を支援します。

<背景／課題>

- ・家畜の伝染性疾病が流行し、動物用ワクチンの需要が急増した場合に、ワクチン製造メーカーによる動物用ワクチンの供給が円滑に行われなければ、当該疾病が急速にまん延し、畜産物の安定供給に支障を生じる懸念があります。
- ・このような事態を未然に回避するため、製造メーカーの動物用ワクチンの増産体制を整備し、緊急時に必要となる動物用ワクチンを迅速、かつ、安定的に供給し、疾病の発生予防やまん延防止を行うことが必要です。

政策目標

緊急時における動物用ワクチンの安定供給の推進

<主な内容>

豚流行性下痢（PED）等の動物用ワクチンの需要が急増する緊急時に備え、増産に必要な医薬品製造用真空凍結乾燥機の整備を支援します。

本事業により支援を受けた事業実施主体は、PED等の家畜の伝染性疾病の流行時等に、国が選定するワクチンを優先的に製造します。

補助率：1／2以内
事業実施主体：民間団体

[お問い合わせ先：消費・安全局動物衛生課（03-3502-8292）]